

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

## ②施設・事業所情報

名称：グローバルキッズ子安駅前保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：酒井由美子	定員（利用人数）：60名 （利用者50名 2020/4/1現在）	
所在地：〒221-0042 横浜市神奈川区浦島町4-5		
TEL：045-548-6823		
ホームページ：https://gkids.co.jp/facilities/nursery_124.html		
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2018年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社グローバルキッズ		
職員数	常勤職員： 15名	非常勤職員： 3名
専門職員	（専門職の名称）	名
	施設長	看護師
	主任	栄養士
	保育士	調理士
施設・設備の概要	（居室数）保育室6室 事務室1 職員休憩室1	
	（設備等）トイレ、厨房等	

## ③理念・基本方針

企業理念：子どもたちの未来のために

保育理念：豊かに「生きる力」を育てる

保育目標：1、家庭的な雰囲気の中で育ち、笑顔あふれる素直な子ども  
2、たくさんの人との関わりを通し、自分で考え、行動できる子ども

保育方針：1、のびのびとしたあたたかな保育  
2、安心できる環境の中で、ありのままの自分を表現できる保育  
3、自ら選び、夢中になって遊びこめる保育  
4、人とのつながりを大切にし、相手を思う気持ちを育む

## ④施設・事業所の特徴的な取組

駅から徒歩数分の場所に位置し、大変便利の良い場所にある保育園です。関係者以外の侵入を防ぐ目的をもって、通りに面した方向の外観では保育園ということが分かりにくい建て方になっています。

日々の保育では天気の良い日は毎日散歩に出かけ体を動かしたり保育園周辺の人との交流を行うようにしています。園内では異年齢での活動を活発に行うことで子ども達が自

主的に年下の子ども面倒をみたり年下の子供が憧れをもって年上の子ども達と接しながら安心、成長できるような育ちあいを大切にした保育を行っています。

子ども達の様々な学びのもととなる環境の設定として、静と動に遊びをまとめて配置し自ら関心を持ち、選んだ遊びに集中して取り組めるようなコーナー作りを心がけています。また、文字や数字、地図や動植物などにも自然と関心が持てるように、子ども達の日常の動線に配置しています。

4・5歳児になると外部講師による体操の時間を設け、運動を楽しみながら自分の身体をコントロールし、達成感や自主性を育むことができるような取り組みをしています。

### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和2年6月11日（契約日）～ 令和3年3月3日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初回（            年度）

### ⑥総評

#### ◇特に評価の高い点

1)子どもたちは異年齢に関わり、優しさや思いやりを身につけています

日々の生活の中で子どもたちは「〇組に行きます」と保育室を自由に行き来し机上遊びや動きのある遊びの部屋など自分の目的に合った自然な形で異年齢の子ども同士で触れ合うことができるようになっていきます。

上手になったピアノ演奏を他のクラスに行き演奏会を催し即興のピアノ練習会を開き、年下の子どもたちにピアノの触り方、吹き方などを教えるなどしています。年上の子どもたちは職員から言われることなく、年下の子どもたちのお世話をしたりいたりしながらのびのびと自分の思いを形にしています。

2)職員間のコミュニケーションを大切にして保育にあたっています

職員は、朝、休憩前、帰宅前の少なくとも1日3回全クラスを回って挨拶をすると共にクラスの活動の様子、部屋の温度、明るさ、子どもが寝ている様子などを確認し職員同士のコミュニケーションを図っています。

担当するクラスのみならず、全クラスの子どもの様子を把握することにより、チーム保育を実践しています。子どもたちの様子を多くの違う目で見ることにより保育の内容を検討したり、他の職員の疑問や悩みを共有することにより職員がそれぞれの力を発揮し、子どもたちが保育方針、保育目標に合った園生活を送れるよう保育を行っています。

#### ◇改善を求められる点

1)地域との交流

設立から間がないこと、大通りに面しており近隣が少ないこと、また現在はコロナ禍であり人と人との交流が難しいことなどがあります。地域で保育園運営を行う上で、地域に園を知ってもらうことが不可欠です。地域に園を知ってもらい、交流をすると共に地域の子育て支援ニーズを把握し、園の専門性を活かした地域貢献を行う工夫が期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

グローバルキッズ子安駅前保育園は2018年4月に開園し、今年度で3年目となり今回が初めての第三者評価の受審となります。

今回自己評価を行うことで、改めて園の在り方や保育について全職員で考えるきっかけとなり普段行っているひとつひとつの事柄を見直すことで子ども達、保護者、地域のすべてに対して大切な意義を持つ関わりであるという保育園の在り方の全体像を見直すことにつながりました。

そして多様な保育のニーズが求められる中、より細やかな配慮や対応ができるよう職員の育成の重要性や保育の質の向上、また地域に求められる子育てのニーズを把握し地域に根差した園運営がこれからの課題であることと、今回客観的な視点からいただいた評価と保護者の皆様からのご意見を職員一同真摯に受けとめ、今後も安心してお子様を預けて頂くことのできる関係づくりに努めてまいりたいと思います。

今回の受審にあたりご尽力いただきました評価機関の皆様、お忙しい中アンケートにご協力くださいました保護者の皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり